

ガス給湯器

33-603/604/605型

型式名 GBF-13D-A

——— 本社ガスビルサービスセンター 支社所在地および電話番号 ———

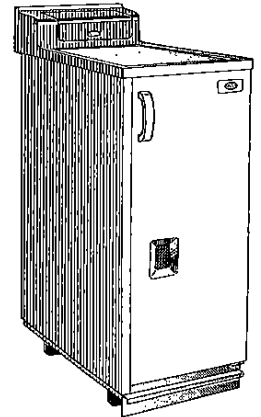
大阪支社	☎550	大阪市西区千代崎3丁目2番35号	☎大阪	06(586)3200
南部支社	☎590	堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺	0722(38)1131
北部支社	☎569	高槻市藤の里町39-6	☎高槻	0726(71)0361
東部支社	☎578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内	0729(62)1131
兵庫支社	☎650	神戸市中央区東川崎町1丁目8番2号	☎神戸	078(360)3100
京都支社	☎600	京都市下京区中堂寺栗田町1番地	☎京都	075(311)7381
奈良支社	☎631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良	0742(44)1111
和歌山支社	☎640	和歌山市本町1丁目5	☎和歌山	0734(31)2481
兵庫西支社	☎670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路	0792(85)2221
豊岡支社	☎668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡	0796(23)2221
滋賀支社	☎525	草津市追分町荒畑680の1	☎草津	0775(62)5311
滋賀東支社	☎522	彦根市大東町12番11号	☎彦根	0749(22)3131
(阪神センター)	☎526	長浜市南浜服町3番4号	☎長浜	0749(62)7171
本社・ガスビルサービスセンター	☎541	大阪市中央区平野町4丁目1番2号	☎大阪	06(202)2221

大阪ガス株式会社

「あねがひ」

ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にして（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

取扱説明書



ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。なお、
ご不明な点があればお買い求めの販売店
にお問い合わせください。

大阪ガス

必ずお守りください

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯器をお求めいただき、ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

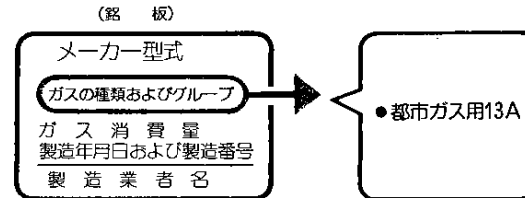
もくじ

●ごあいさつ・もくじ	1
●必ずお守りください	2
●各部の名称	5
●初めてお使いいただくときは・・・	6
●ご使用方法	7
●冬期の凍結予防について	10
●点検・お手入れ	11
●故障かな？と思ったら	12
●主な仕様	13
●寸法図	14
●保管とアフターサービス	16

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

●使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
器具本体の正面にはってある銘板（ラベル）に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。



- ガスの種類には都市ガスとLPGガスとがあります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●用途についてのご注意

- 給湯及びシャワー以外の用途には使用しないでください。

●器具設置についてのご注意

- 器具の設置・工事は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

必ずお守りください

必ずお守りください

● 使用上のご注意

ガス漏れ予防

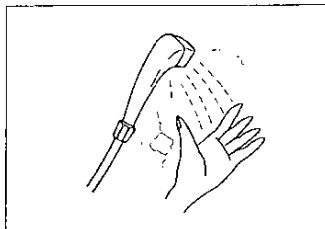
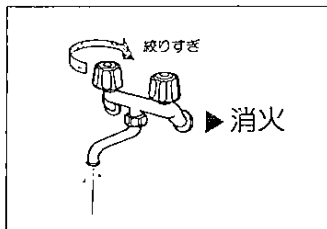
- 使用中にガスにおいや、不快においがないかどうかときどき確かめてください。

火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの(紙、洗たく物、揮発油など)を絶対においたり近づけたりしないでください。

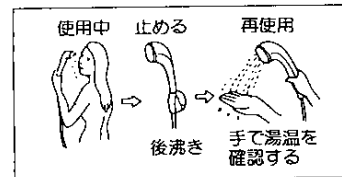
出湯についてのご注意

- 湯足を絞りますと、消火しお湯になりません。
- 給湯及びシャワーを使う場合、最初に熱いお湯が出る場合がありますので湯量を確かめてからご使用ください。
- 給湯せんから水を出しながらの点火操作は危険ですからおやめください。
- 台所と浴室などで同時に使用しますと、湯量が少なくなったり、湯温が変化することがあります。
- 出湯温度が異常に高くなると安全装置がはたらいてガスが止まり、消火することがあります。このままでは冷水が出つづけることになりしますので一旦止水後、再点火してください。
なおその時、湯温調節ツマミを多少「高→低」にまわすが又は、能力切替ツマミを「小」にまわしてください。
- 万一着火が消えた場合は、すぐ再点火しないで2～3分待つてから点火してください。



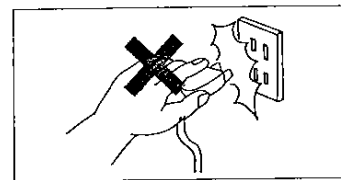
やけどのご注意

- シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは器具の後沸きによって一瞬熱い湯がでることがありますので、ご注意ください。



ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元栓を閉じ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
〔絶対に使用しないでください〕
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、スイッチの入、切や電線プラグの抜き差しなど、しないでください。



日常の点検・手入れ

- 日常の点検、手入れをしてください。(詳しくは11ページをごらんください)
- 故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
このとき、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

飲用にお使いのとき

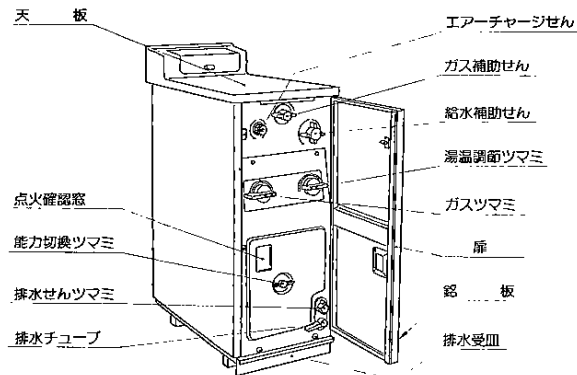
- 器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

凍結についてのご注意

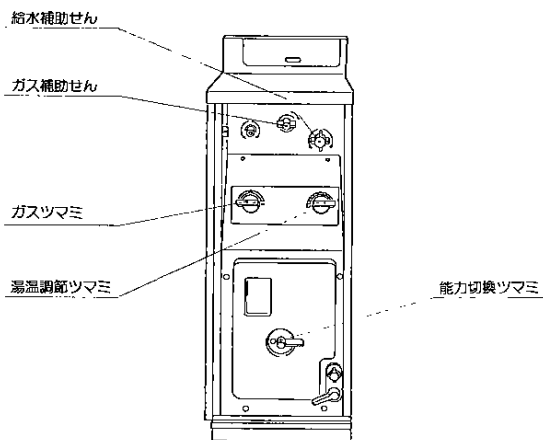
- 冬期には器具内の水が凍って器具が破損することがあります。
凍結のおそれのある期間は10ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

各部の名称

《器具本体》



《操作部》



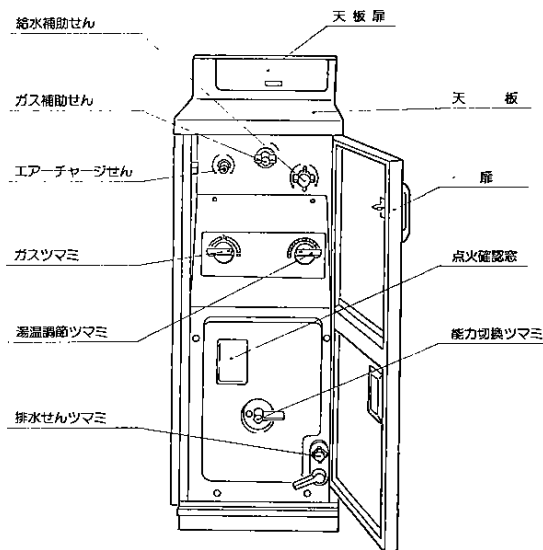
初めてお使いいただくときは…

■ ご使用まえに

- ①給水・給湯配管部から水漏れのないことを確認してください。
排水せん、エアージャージせんが閉じていることも確認してください。
- ②給水元せん・給水補助せんを開き、次にすべての給湯せんを開いて水が出てくることを確認して給湯せんを閉めてください。
- ③ガスの元せんを開けてください。
- ④給水元せん、ガス元せんは、天板扉の中に入っています。天板は前部を引き上げれば外れます。
取り付ける時は本体に合わせて押しつけてください。

■ 操作をするツマミ類は下図の位置・形状です。

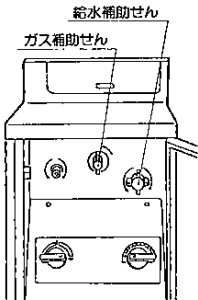
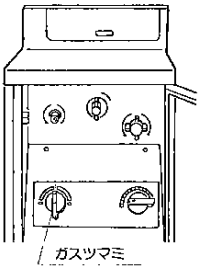
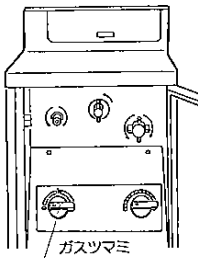
- 扉を開けてシマミを確認しておいてください。

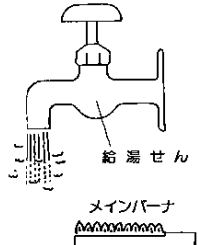

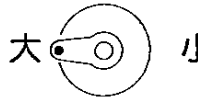


ご使用方法

ご使用方法

操作順序

種火点火	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス補助せん、給水補助せんを全開にします。 	 <p>給水補助せん ガス補助せん</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●ガストツマミを押したまま「0」から「1」へ止まるまでまわし、点火を確認して、そのまま20秒程ツマミを押しつづけます。 注) 点火はゆつくりと確実に止まるところまでまわしてください。 注) 初めて使うときはガス配管中に空気が溜っていますので1回で点火しない場合があります。この時は操作を繰り返してください。 ●ガストツマミから手を離しても種火が消えないことを確認してください。 注) ツマミを押している時間が短かかったり、押しかたが弱いと手を離れたとき種火が消えることがあります。消えた場合はもう一度操作を繰り返してください。 	 <p>ガストツマミ</p>
給湯準備	<ul style="list-style-type: none"> ●ガストツマミを「1」から「2」へ止まるまでまわします。 これで浴室、台所、洗面所等への給湯準備は完了です。 	 <p>ガストツマミ</p>

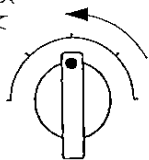
給湯 (本火着火)	<ul style="list-style-type: none"> ●お湯を使いたい所の給湯せんを開けると、メインバーナに着火してお湯が出てきます。使用後は給湯せんを閉めれば自動的に火は消えます。 	 <p>給湯せん メインバーナ</p>
湯温調節	<ul style="list-style-type: none"> ●湯温調節は湯温調節ツマミで行なってください。 左まわし —— めるい 右まわし —— あつい 注) 季節や給湯場所によるツマミの使いわけに器具本体に表示の図表を参考にしてください。 	 <p>湯温調節ツマミ</p>
能力切換	<ul style="list-style-type: none"> ●夏場は水温が高くなり、シャワー・台所等で使用するときにあつすぎる場合がありますので扉内正面の中央にある能力切換ツマミを「小」に切り換えてください。 能力は大と小の文字の位置までまわすと切り換えができます。 	 <p>大 小</p> <p>注) 季節や給湯場所によるツマミの使い分けは器具本体に表示の図表を参考にしてください。</p>
消火	<ul style="list-style-type: none"> 使い終わったあとはガストツマミを「0」の位置に戻し、ガス補助せん、給水補助せんも閉じてください。 	

湯温調節について

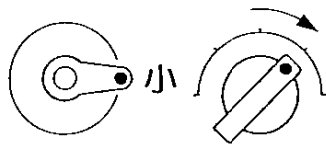
器具本体に表示する **湯温調節の方法** で、ご希望の湯温が得られない場合、又は、混合水せんを使用しない場合は下記の方法で行なってください。

《湯があつすぎる場合》

- ①湯温調節ツマミを少し、左(低)の方にまわしてください。



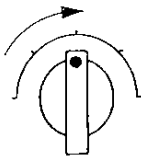
- ②上記①の方法でも、なお、あつすぎる場合、又は、水圧事情により本火がつかない場合、能力切換ツマミを「小」に切り換えて、湯温調節ツマミを少し、右(高)の方にまわしてください。



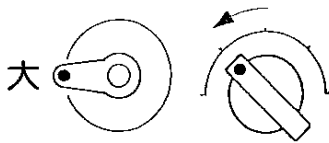
ご注意) 夏場、混合水せんを使用しないで浴槽等に能力切換ツマミ「大」で給湯されますと、あついめのお湯が出ます。

《湯がぬるすぎる場合》

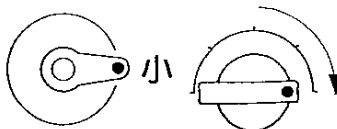
- ①湯温調節ツマミを少し、右(高)の方にまわしてください。



- ②上記①の方法でも、なおぬるすぎる場合、能力切換ツマミを「大」に切り換えて、湯温調節ツマミを少し、左(低)の方にまわしてください。



- ③上記②の方法で、湯量が多すぎる場合、又は水圧事情により本火がつかない場合、能力切換ツマミを「小」に切り換えて、湯温調節ツマミを右(高)の方にとまるまでまわした後、給湯せんで湯量をしばってください。



ご注意) 冬場、能力切換ツマミ「小」で給湯されますと、ぬるいめのお湯が出ます。

冬期は給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起ることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をお取りください。

●通水による方法

- この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。
- ①ガスつまみを「0」に戻し、ガス補助せん、ガスの元せんをしめます。
- ②給湯せんをあけ1分間に約200cc以上(牛乳ビン1本ぐらい) (特に寒い日は多目に)を流し放ししておきます。
- ※流量が不安定なことがありますので、急のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。

●器具内の水を抜く方法

入居前や長期不在の場合は必ず行なってください。また外気温が極端に低くなる場合もこの方法をおとりください。

水抜きの方法は、本体の扉の裏側に表示しています。

次に使用するときは、各つまみを元の状態にして、一度水を通して水の出ることを確認してから点火してください。

《凍結したときは……》

凍結したまま使われますと、器具に異常を生じる場合があります。凍結が溶けた後、水漏れがないをご確認のうえ、ご使用ください。

点検・お手入れ

●点検・手入れの際のご注意

- 器具を安全、快適に、ご使用いただくために日常の点検・手入れを必ず行なってください。
- 点検・手入れの際には、ガス元せんを開いて器具が冷えてから行なってください。

●点検

- 器具の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものを置いていませんか？
- 排水受皿は時々点検をして、水がたまっている場合は捨ててください。
排水時以外に受皿に水がたまったときは、販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

●お手入れ

- 外表の掃除
やわらかい布に中性洗剤を付けて、軽く拭いてください。
(タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください。)

点検お手入れ後の確認

- 点検・お手入れの後は器具が正常に作動しているか確認してください。
万一、異常な燃焼、異常音、異臭を感じられたときはお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 排水受皿を外したまま器具を使用しないでください。

定期点検のおすすめ

- 器具のご使用に支障がなくても、2～3年に1回ぐらいバーナや各部の作動が正常かどうか定期点検をするのが、安全で長期間使用いただくための“ひけつ”です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

故障かな?と思ったら

現 象	原 因	対策及び処理方法	
1. 火がつかない	1) 煙火がつかない。	①ガス元せん及びガス補助せんが開いていない。 ②最初の操作時には配管内に空気がたまっている。	・ガス元せん及びガス補助せんを全開にする。 ・ガスマミを押しで「1」の位置でしばらく待ち、点火操作を繰り返す。
	2) 煙火はつくがすぐ消える。	①「1」の位置でガスマミを離すのが早い。	・ガスマミは「1」の位置へ押しまわし、20秒程押し続ける。
	3) 本火がつかない。	①給水元せん及び給水補助せんが全開になっていない。 ②給湯せんが全開になっていない。 ③他所で水を多く使っており水圧が低くなっている。 ④泡球水せん(台所用給湯せん)の中のフィルターにゴミ等がたまっている	・給水元せん及び給水補助せんを全開にする。 ・給湯せんを全開にする。 ・他所の使用が終るまで待つ。 ・フィルターを取り外して掃除をする。
	4) 高湯給湯中本火及び種火が消え水が出る。	①沸騰防止装置の作動	・湯温調節ツマミを少し左(低)の方にまわす。 ・給湯せんを全開にして使用する。 (上記2方法のいずれの場合も点火操作をやりなおす)
2. 希望する湯温が得られない。 水道の圧力、水温等によって湯温調節ツマミと能力切換ツマミを使い調節してください。 標準的な使い方は器具本体に表示してあります。又、標準的な使用範囲外の場合は、この取扱説明書9頁の「湯温調節について」を参照してください。			
3. その他、異常燃焼や故障していると思われるときは販売店又はもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。			

主な仕様

寸法図

■ 後方排気33-603型

(単位: mm)

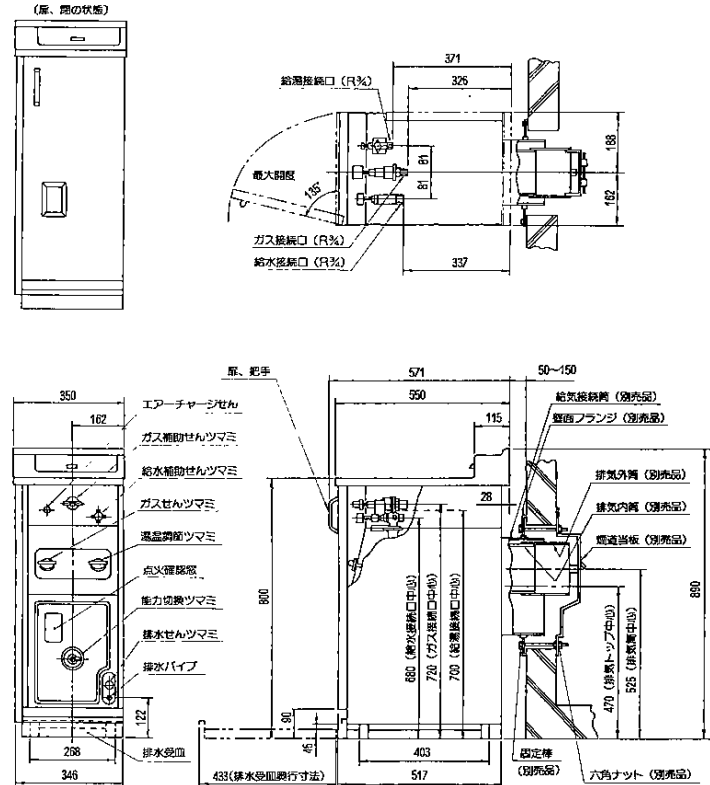
商 品 の 呼 び	33-603~605型	
型 式 の 呼 び	GBF-13D-A	
本体外形寸法 (mm)	全 高	800 (水切り部を含むと890)
	全 幅	天板350・(本体346)
	奥 行	天板550・(本体517)
配管接続口径	給水・給湯接続口径	R 3/4 (20A)
	ガス接続口径	R 3/4 (20A)
最低作動水圧 (kg/cm ²)	湯温調節ツマミ全閉時	0.3
	湯温調節ツマミ全開時	0.5
点 火 方 式	圧電式点火	
制 御 装 置	水圧自動ガス弁 (ダイヤフラム部) 能力切替装置 (能力切替つまみ) ガス圧自動調整器 水圧自動調整器	
安 全 装 置	立ち消え安全装置 過圧防止安全装置 過熱防止装置 凍結防止装置 (水抜きせん) 沸騰防止装置	
製品重量(kg)	本 体	39
	給 排 気 ト ッ プ	4 (別売品)

使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量(kcal/h)		出 湯 能 力 (ℓ/分)				
	給 湯 能 力 小	給 湯 能 力 大	水温+15℃上昇		水温+25℃上昇		水温+40℃上昇
			大	小	大	小	大
都市ガス 13A	12,250	24,500	(21.6)	10.8	15.0	6.5	8.1

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

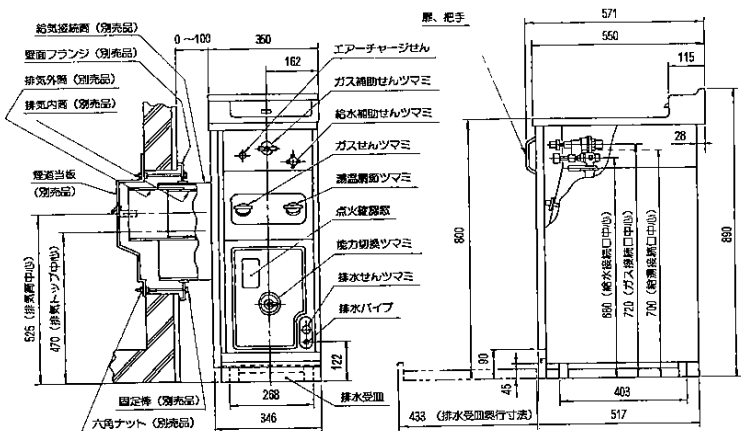
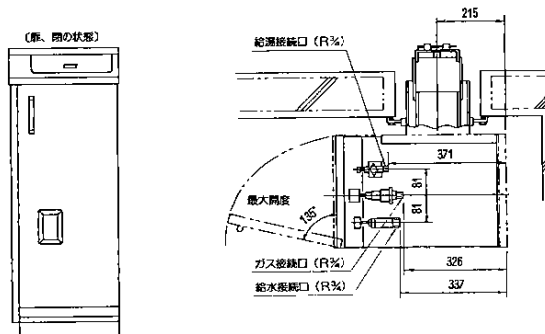
◎出湯能力は計算値です。()内は湯水混合時の値です。

◎ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力するとき。



■左側方排気33-604型

※右側方排気33-605型の場合は給排気部が反対方向に対称の図となります。



●長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - ①ガスの元せんを閉じる。
 - ②給水元せんを閉じる。
 - ③器具の水抜きを行なう。(水抜き方法は本体扉の裏面に表示しています。)

●アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- ①まず「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス社社にご連絡ください。
- ②アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
 1. ご住所・お名前・電話番号・道順 (付近の目印等)
 2. 品名……33-603~605型 (右のようなラベルを扉の表面下部に貼付けてあります)
 3. 現象……できるだけ詳しく
 4. 訪問ご希望日

(例)

(N)33-603

大阪ガス株式会社

転居される場合

- 転居される場合は転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス社社にご相談ください。
- なお、このガス給湯器は都市ガス13A以外のガス種への調製・改造はできません。

保証について

- このガス給湯器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガス給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス社社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後7年です。
- その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。